

発 言 通 告 書

発言者氏名	青木 秀介
発言の会議	平成26年11月27日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	<u>一 括</u> 、一問一答
答弁を求める者	市 長、教育長

【件名及び発言の要旨】

- 1 横須賀製鉄所（造船所）創設 150 周年記念事業の準備状況について
 - (1) 事業計画全体に深みがないと思われることについて
 - (2) 進行計画が不十分であり、各事業の羅列と受け取れることについて
 - (3) 事業計画が市役所主体の計画に偏っており、市内各団体、事業者との連携が不明瞭であると思われることについて
 - (4) 観艦式とのコラボレーションなど他機関・団体を巻き込んで大きな盛り上がりを作るための同記念事業準備の今後の進め方について

- 2 会津若松市との友好都市提携 10 周年を迎えることについて
 - (1) 友好都市提携 10 年間の総括について
 - (2) 友好都市提携 10 周年に当たる式典や催しの計画について
 - (3) 東日本大震災の影響を受ける会津若松市支援のため、市民が同市を訪れ経済活動に貢献していく仕組みづくりを検討する必要

性について

ア 会津若松市を公立学校の修学旅行先として検討することについて

- (4) 長井での民泊を活用した漁業体験や会津若松市での農家との触れ合いなど、両市の子ども達の相互交流という形での学校間交流の可能性について

3 横須賀市の税収を支える「よき納税者」の視点について

- (1) 本市一人当たりの個人市民税納税額の県内順位について
- (2) 「財政白書」に記載されている市税収入減少の理由と将来見通しについて
- (3) 「よき納税者」が住み続けたいと思える横須賀になる必要性について

ア 「よき納税者」が知らぬ間に横浜や逗子、葉山に住居や事業の拠点を移している、あるいは移そうとしていることについて

イ 住民であることがステータスになるようなまちである必要性について

4 横須賀に優秀な人材を育てる教育環境をつくる必要性について

- (1) 優秀な人材が育つまちであるということは、大きなステータスになると思うが、今の横須賀にそれを実感させる要素があるのか。
- (2) 横須賀に優秀な人材を育てる教育環境をつくるのが、今、最も求められていることだと思うが、どう考えているのか。
- (3) 横須賀に優秀な人材を育てる教育環境をつくるためには広く底上げも必要だが、特に優秀な者を伸ばし牽引させることが早道であると思われることについて